

# 観峰館所蔵封泥（二）

瀬川敬也

本稿では、『観峰館紀要』第五号に引き続き観峰館所蔵封泥六十八点（目録番号97-0050-023）97-0050-090）の写真（表面・裏面）および印面の拓本を収録し、印文の釈文・注釈・サイズそして形状・特徴などのデータを附す。

## 【凡例】

番号 配列は観峰館の目録番号順とし、（ ）内に目録番号を附す。

釈文 印文の釈文を記すが、欠損などによりまったく判読できない文字は□で、欠損などによりほとんど判読できないが、文字の一部の形や出土例から推定した文字は□内にそれぞれ記す。

注釈 相家巷封泥に同文の封泥がすでに出土しているか、また、印文の内容に該当する史書等の記事があるかを記す。相家巷封泥の出土例は、『秦封泥集』・『新出土秦代封泥印集』を参照。

サイズ 封泥および印面の各サイズは、それぞれ以下の基準で計測し、単位はミリメートルで記す。

封泥タテ 印文に対して垂直の最大幅。

封泥ヨコ 印文に対して水平の最大幅。

印面タテ 印面の天地の幅、ただし、境界が不明確なものは（ ）付きで確認できる範囲の最大幅を記す。

印面ヨコ 印面の左右の幅、ただし、境界が不明確なものは（ ）付きで確認できる範囲の最大幅を記す。

枠線タテ 印面の天地の枠線間の幅、ただし、枠線が不明確な場合は（―）と、枠線自体がない場合は（無）と記す。

枠線ヨコ 印面の左右の枠線間の幅、ただし、枠線が不明確な場合は（―）と、枠線自体がない場合は（無）と記す。

封泥厚さ 印面と裏面の検もしくは簡との接触面の厚み。不規則にはみ出している部分は計測しない。

検・簡幅 封泥裏面にある検もしくは簡の痕跡の幅。ただし、痕跡が見えないか、もしくは計測不可能な場合は（―）と記す。

備考 その他各封泥の形状・特徴等の情報を記す。

23、  
(97-0050-023)



积文  
少府工丞

注釈

出土例あり。『漢書』百官公卿表に、秦官に少府の属官として考工室があり、それぞれに令・丞が置かれたとある。また、五年相邦呂不韋戈銘にも少府工室が見えることから、戦国に遡り得る。

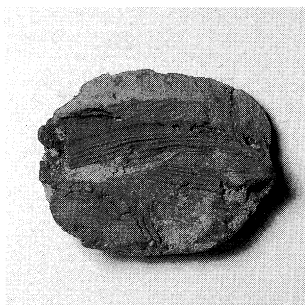
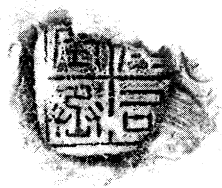
サイズ

封泥タテ三〇・〇、封泥ヨコ二六・〇、印面タテ（一八・五）、印面ヨコ一七・五、枠線タテ（―）、枠線ヨコ一五・〇、封泥厚さ八・〇、検・簡幅（―）

備考

不規則円餅形、枠線なし。右肩部欠損、裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

24、  
(97-0050-024)



积文  
圀司空丞

注釈

97-0050-0001参照

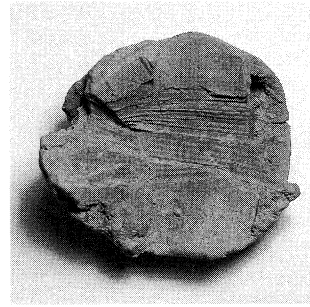
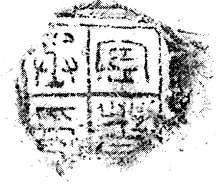
サイズ

封泥タテ二三・五、封泥ヨコ二九・五、印面タテ（一八・五）、印面ヨコ（一八・五）、枠線タテ（―）、枠線ヨコ（―）、封泥厚さ七・〇、検・簡幅（―）

備考

不規則円餅形、田字枠線。上部欠損、裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。全体に焼け焦げたような痕跡。

25、(97-0050-025)



積文 宦者丞印

注釈 97-0050-021参照

サイズ

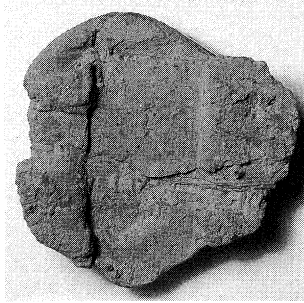
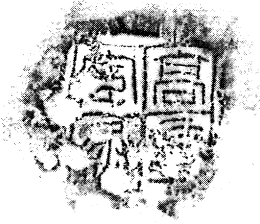
封泥タテ二九・〇、封泥ヨコ三三・〇、印面タテ(二八・〇)、印面ヨコ(二〇・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ一八・〇、

封泥厚さ八・〇、検・簡幅一四・〇

備考

不規則円餅形、田字枠線。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

26、(97-0050-026)



積文

高□宦丞

注釈

文字の残欠部分と、すでに発見されている封泥の官職名とを勘案すれば、高章宦丞であろう。史書に記載なし。高章宦者の封泥も発見されていることから、高章宦者丞の略称か。

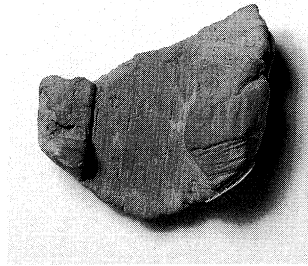
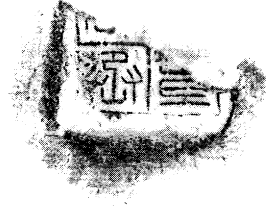
サイズ

封泥タテ三五・〇、封泥ヨコ三五・〇、印面タテ(二二・五)、印面ヨコ(二二・五)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ一九・〇、封泥厚さ八・〇、検・簡幅一四・五

備考

不規則円餅形、田字枠線。印面左下部乾燥前に変形。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

27、(97-0050-027)



積文 □章□丞

文字の残欠部分と、すでに発見されている封泥の官職名と

を勘案すれば、高章宦丞であろうか。高章宦丞に関しては、

97-0050-026参照。

サイズ 封泥タテ三〇・〇、封泥ヨコ二九・〇、印面タテ(二六・〇)、

印面ヨコ二八・〇、枠線タテ(一)、枠線ヨコ一九・〇、封

泥厚さ六・〇、検・簡幅二三・五

備考 不規則円餅形、田字枠線。左側上部から右側中央部にかけて

欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕。全体に焼け焦げた

ような痕跡。

28、(97-0050-028)



積文 □□丞印

注釈 (判読不能)

サイズ 封泥タテ二三・五、封泥ヨコ二二・五、印面タテ二二・〇、

印面ヨコ(一四・〇)、枠線タテ一九・〇、枠線ヨコ(一)、

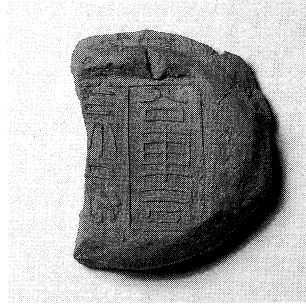
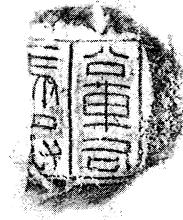
封泥厚さ八・〇、検・簡幅一四・〇

備考 不規則円餅形、田字枠線。右側欠損。裏面に木目とワラシ

ベ状紐痕、紐の通った穴。



29、(97-0050-029)



積文

公車司馬丞

出土例あり。『漢書』百官公卿表では、秦官に衛尉の属官として公車司馬があり、令・丞が置かれたとある。顔師古は『漢官儀』を引き「公車司馬掌殿司馬門、夜徹宮中、天下上事及闕下凡所徵召皆総領之」と注す。夢雲睡虎地秦簡秦律雜抄にも「公車司馬狝律」が見える。

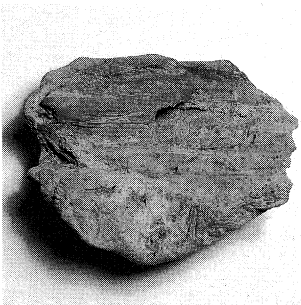
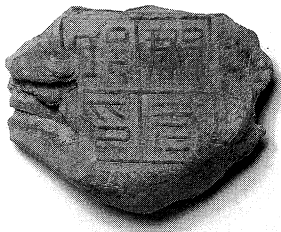
サイズ

封泥タテ三〇・五、封泥ヨコ二五・五、印面タテ二一・〇、印面ヨコ一六・〇、枠線タテ一八・〇、枠線ヨコ一、封泥厚さ七・五、検・簡幅(一)

備考

不規則円餅形、横日字枠線。左側欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

30、(97-0050-030)



積文

郡右邸印

注釈

97-0050-004参照

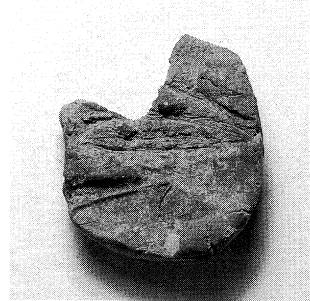
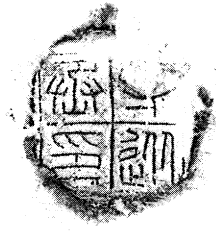
サイズ

封泥タテ二七・〇、封泥ヨコ三四・五、印面タテ(二〇・五)、印面ヨコ(二〇・五)、枠線タテ一八・〇、枠線ヨコ一八・〇、封泥厚さ九・〇、検・簡幅(一)

備考

不規則円餅形、田字枠線。上部・左側欠損。裏面にワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

31、(97-0050-031)



積文 團込丞印

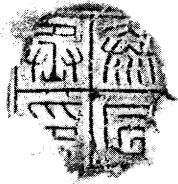
注釈 97-0050-013参照

サイズ 封泥タテ二九・〇、封泥ヨコ二六・五、印面タテ(一九・五)、

印面ヨコ二二・五、枠線タテ(一)、枠線ヨコ一九・五、封泥厚さ七・〇、検・簡幅(一)

備考 不規則円餅形、田字枠線。右肩部欠損。裏面にワラシベ状紐痕。

32、(97-0050-032)



積文 泰匠丞印

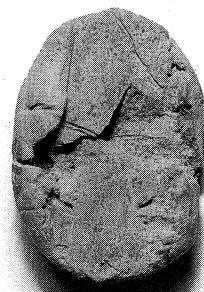
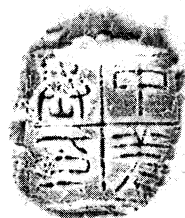
注釈 97-0050-016参照

サイズ 封泥タテ三二・〇、封泥ヨコ二九・〇、印面タテ(二二・五)、

印面ヨコ(二二・五)、枠線タテ二二・〇、枠線ヨコ(一)、封泥厚さ八・〇、検・簡幅二二・〇

備考 不規則円餅形、田字枠線。左右下部欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

33、(97-0050-033)



積文 中差丞印

注釈

出土例あり。史書に直接の記載はないが、『漢書』百官公卿表に「初御羞・上林・衡官及鑄錢皆屬少府」と見える。「羞」は「饜」で食膳の意。「御」が一般に帝王に関するものを指すように、「中」は多く皇后を指す。

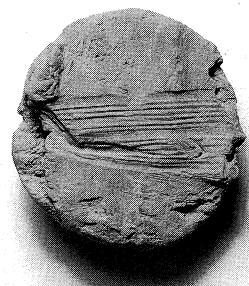
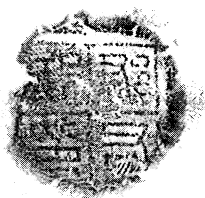
サイズ

封泥タテ三五・〇、封泥ヨコ二五・〇、印面タテ二二・〇、印面ヨコ二〇・〇、枠線タテ二〇・〇、枠線ヨコ二〇・〇、封泥厚さ九・五、検・簡幅一四・〇

備考

不規則円餅形、田字枠線、裏面に木目とワラシベ状紐痕。

34、(97-0050-034)



積文

注釈

圓右圖印

97-0050-004参照。

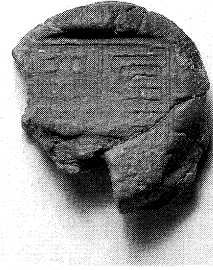
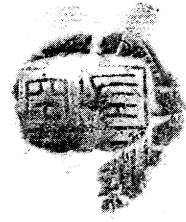
サイズ

封泥タテ三〇・〇、封泥ヨコ二九・〇、印面タテ二二・〇、印面ヨコ二二・〇、枠線タテ一、枠線ヨコ一、封泥厚さ九・五、検・簡幅一一・五

備考

不規則円餅形、田字枠線。印面全体に乾燥前についた指紋。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

35、  
(97-0050-035)



積文  
注釈

左□空□

出土例から勘案すれば、左司空印もしくは左司空丞であろうか。左司空に関しては97-0050-001参照。

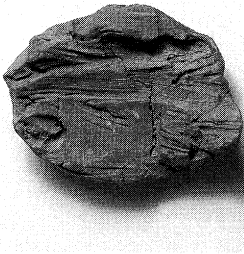
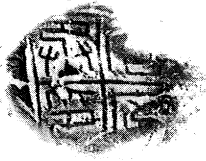
サイズ

封泥タテ二七・〇、封泥ヨコ二二・〇、印面タテ(二二・五)、印面ヨコ(一九・五)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ一八・〇、封泥厚さ七・〇、検・簡幅一四・五

備考

不規則円餅形、田字枠線。左縁部から下部中央にかけて欠損。右縁中央から左下方向に亀裂。裏面に木目とワラシベ状紐痕。全体に焼け焦げたような痕跡。

36、  
(97-0050-036)



積文

注釈

圖壺丞印

97-0050-012参照。

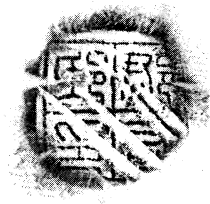
サイズ

封泥タテ二三・〇、封泥ヨコ三〇・〇、印面タテ(一七・五)、印面ヨコ(二〇・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封泥厚さ八・五、検・簡幅一三・五

備考

不規則円餅形、田字枠線。印面左寄りに亀裂。修理痕らしきものあり。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

37、(97-0050-037)



積文 郡圀邸印

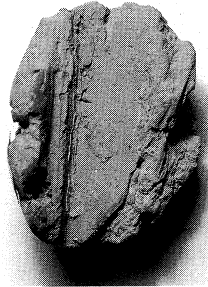
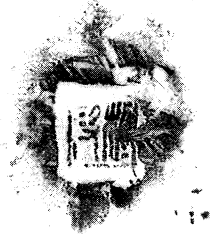
注釈 97-0050-004参照

サイズ 封泥タテ三・〇、封泥ヨコ三・二・〇、印面タテ(二・〇・〇)、  
印面ヨコ(二・九・五)、枠線タテ一・九・〇、枠線ヨコ(一・)、

備考 封泥厚さ一・〇・〇、検・簡幅(一)

不規則円餅形、田字枠線。印面に乾燥前についた複数の線。  
裏面一部欠損。木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

38、(97-0050-038)



積文 圖段

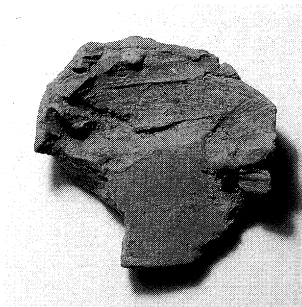
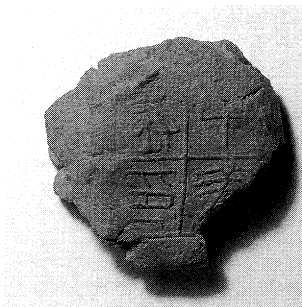
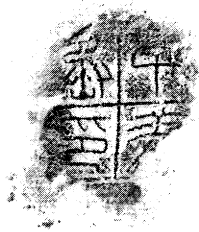
注釈 出土例あり。恐らくは私印であろう。

サイズ 封泥タテ三・〇・五、封泥ヨコ二・五・〇、印面タテ二・二・五、  
印面ヨコ(二・二・〇)、枠線タテ九・五、枠線ヨコ九・五、封

備考 泥厚さ一・〇・〇、検・簡幅一・〇・〇

不規則円餅形、口字枠線。左右縁部欠損。裏面に木目と紐  
穴らしきもの。

39、(97-0050-039)



积文 中園丞印

注釈 97-0050-033参照

サイズ 封泥タテ三〇・〇、封泥ヨコ三二・〇、印面タテ(二〇・〇)、

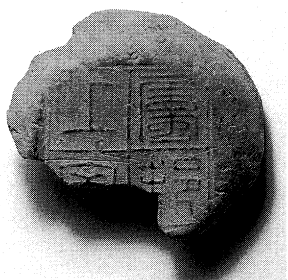
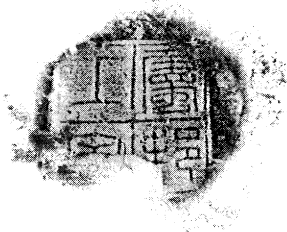
印面ヨコ(一七・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封

泥厚さ六・〇、検・簡幅(一)

備考 不規則円餅形、田字枠線。右下部欠損。印面上辺部から右

辺部にかけて乾燥前についた指紋。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

40、(97-0050-040)



积文 属邦工圍

注釈 出土例あり。『漢書』百官公卿表に蛮夷の投降者を掌る典

属国が見えるが、漢の高祖劉邦の諱を避けたものか。雲夢

睡虎地秦簡秦律十八種には属邦律が含まれる。工室は『漢

書』百官公卿表では、秦官に少府の属官として考工室があ

り、巨瓚は「冬官爲考工、主作器械也」と注する。雲夢睡

虎地秦簡秦律十八種工律には工官の度量衡基準器に関する

規定が見える。

サイズ 封泥タテ二九・〇、封泥ヨコ三二・五、印面タテ二二・〇、

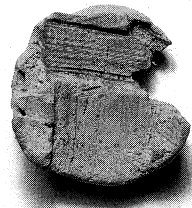
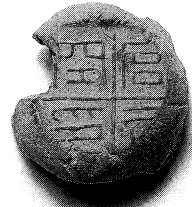
印面ヨコ二二・〇、枠線タテ二〇・〇、枠線ヨコ二〇・〇、

封泥厚さ八・五、検・簡幅(一)

備考 不規則円餅形、田字枠線。左下部欠損。裏面にワラシベ状

紐痕、紐の通った穴。

41、(97-0050-041)



積文  
宮司空印

注釈  
出土例あり。宮司空に関しては、97-0050-003

参照。

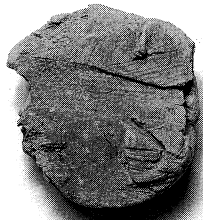
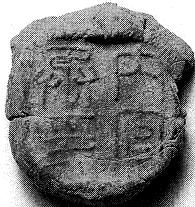
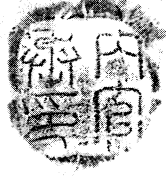
サイズ

封泥タテ二三・〇、封泥ヨコ二二・五、印面タテ(七・五)、  
印面ヨコ(七・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封泥  
厚さ七・〇、検・簡幅(二三・〇)

備考

不規則円餅形、田字枠線。左肩部欠損。裏面に木目とワラ  
シベ状紐痕、紐の通った穴。

42、(97-0050-042)



積文  
内官丞印

注釈  
97-0050-002参照

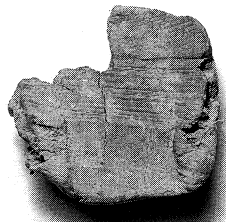
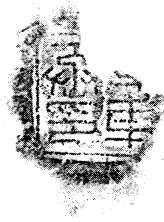
サイズ

封泥タテ二六・〇、封泥ヨコ二四・〇、印面タテ二三・〇、  
印面ヨコ(二三・〇)、枠線タテ(無)、枠線ヨコ(無)、封  
泥厚さ八・〇、検・簡幅七・五

備考

不規則円餅形、枠線なし。右側面欠損。裏面に木目とワラ  
シベ状紐痕、紐の通った穴。

43、(97-0050-043)



積文 □車丞印

文字の残欠部分と、すでに発見されている封泥の官職名とを勘案すれば、寺車丞印であろう。出土例あり。史書に記載なし。

載なし。

サイズ

封泥タテ二五・〇、封泥ヨコ二七・〇、印面タテ一七・五、

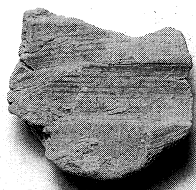
印面ヨコ(二六・五)、枠線タテ一六・五、枠線ヨコ(一)、

封泥厚さ七・〇、検・簡幅一三・五

備考

不規則円餅形、口字枠線。右肩部欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

44、(97-0050-044)



積文 国寝

出土例あり。史書に記載なし。『史記』秦始皇本紀に「高寝」

「太寝」「受寝」と呼ばれる施設に居住する記事が見え、上寝もあるいはこのような施設の一つか。

サイズ

封泥タテ二〇・五、封泥ヨコ二四・〇、印面タテ(二五・〇)、

印面ヨコ一三・五、枠線タテ(一)、枠線ヨコ一〇・五、封

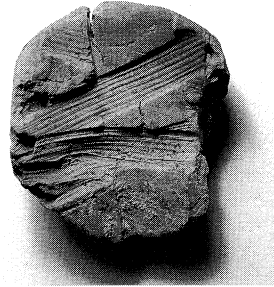
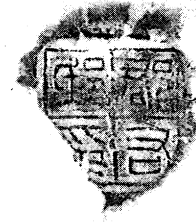
泥厚さ五・五、検・簡幅(一)

備考

不規則円餅形、日字枠線半通印。上部・右下縁部欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。



45、  
(97-0050-045)



積文  
鬮右邸印

注釈  
97-0050-004参照

サイズ  
封泥タテ三・〇、封泥ヨコ二・八・五、印面タテ二・一・〇、

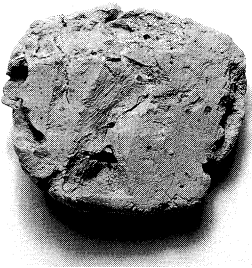
印面ヨコ(二・〇・〇)、枠線タテ一・八・〇、枠線ヨコ

一・八・〇、封泥厚さ九・〇、検・簡幅六・〇

備考  
不規則円餅形、田字枠線。左下縁部欠損。印面中央に乾燥

前についた指紋。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

46、  
(97-0050-046)



積文  
御府丞印

注釈  
97-0050-006参照

サイズ  
封泥タテ二・八・五、封泥ヨコ二・七・〇、印面タテ(一・八・五)、

印面ヨコ(一・八・五)、枠線タテ(―)、枠線ヨコ(―)、封

泥厚さ七・〇、検・簡幅(―)

備考  
不規則円餅形、田字枠線。印面右下部・裏面上部欠損。裏

面に木目とワラシベ状紐の通った穴。

47、(97-0050-047)



郡右邸印

注釈 97-0050-004参照

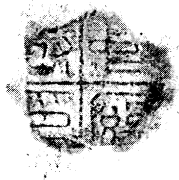
サイズ

封泥タテ二八・〇、封泥ヨコ二五・〇、印面タテ(一九・〇)、  
印面ヨコ(二七・〇)、枠線タテ一八・五、枠線ヨコ(一)、  
封泥厚さ一〇・〇、検・簡幅(一)

備考

不規則円餅形、田字枠線。裏面内側に湾曲。ワラシベ状紐痕。

48、(97-0050-048)



中厩丞印

注釈 97-0050-007参照

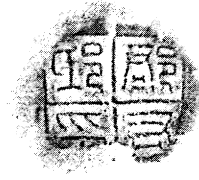
サイズ

封泥タテ二八・五、封泥ヨコ三二・五、印面タテ(二八・五)、  
印面ヨコ(二七・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封  
泥厚さ九・〇、検・簡幅(一)

備考

不規則円餅形、田字枠線。左下縁部・右縁部欠損、裏面中央部欠損。裏面にワラシベ状紐痕。

49、(97-0050-049)



積文  
郡右邸印

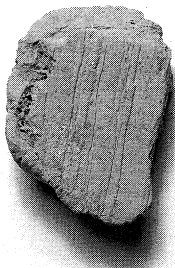
注釈  
97-0050-004参照

サイズ  
封泥タテ二四・〇、封泥ヨコ二六・五、印面タテ(二三・五)、  
印面ヨコ(一九・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ一九・〇、

備考  
封泥厚さ七・〇、検・簡幅一三・〇

不規則円餅形、田字枠線。下縁部欠損、上部亀裂、右縁部  
修理痕らしきもの。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

50、(97-0050-050)



積文  
御府印

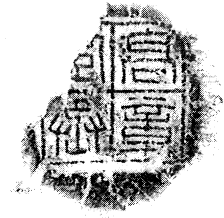
注釈  
文字の残欠部分と、すでに発見されている封泥の官職名と  
を勘案すれば、御府丞印であろう。御府丞印に関しては、  
97-0050-006参照。

サイズ  
封泥タテ二八・〇、封泥ヨコ二二・〇、印面タテ二二・〇、  
印面ヨコ(一六・五)、枠線タテ一九・〇、枠線ヨコ(一)、

備考  
封泥厚さ八・五、検・簡幅(一)

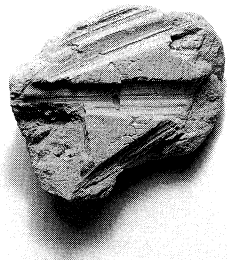
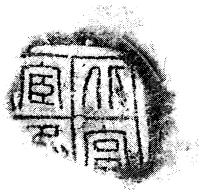
不規則円餅形、田字枠線。左側欠損。裏面に木目痕。

51、(97-0050-051)



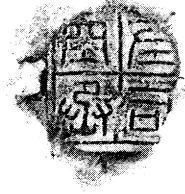
积文 高章宦丞  
 注釈 97-0050-026参照  
 サイズ 封泥タテ二八・五、封泥ヨコ二六・五、印面タテ二一・〇、  
 印面ヨコ二一・〇、枠線タテ一八・五、枠線ヨコ一八・五、  
 封泥厚さ九・五、検・簡幅(―)  
 備考 不規則円餅形、田字枠線。左肩部欠損。裏面に木目とワラ  
 シベ状紐痕、紐の通った穴。

52、(97-0050-052)



积文 北宮宦丞  
 注釈 出土例あり。史書に記載なし。『史記』秦始皇本紀「十年  
 ……復居甘泉宮」の集解で徐広は「表云咸陽南宮也」と注  
 しているが、北宮はこれに対応する宮殿か。  
 サイズ 封泥タテ二五・〇、封泥ヨコ二七・五、印面タテ(一七・〇)、  
 印面ヨコ(一八・五)、枠線タテ(―)、枠線ヨコ一七・〇、  
 封泥厚さ八・〇、検・簡幅(―)  
 備考 不規則円餅形、田字枠線。左下部欠損。裏面に木目とワラ  
 シベ状紐痕、紐の通った穴。

53、(97-0050-053)



积文 左司空丞

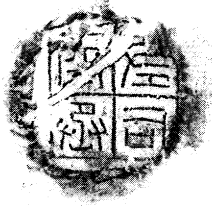
注釈 97-0050-001参照

サイズ 封泥タテ三〇・五、封泥ヨコ三〇・〇、印面タテ(一九・五)、

印面ヨコ(一八・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封泥厚さ八・五、検・簡幅二二・〇

備考 不規則円餅形、田字枠線。右縁部欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕。全体に焼け焦げたような痕跡。

54、(97-0050-054)



积文 左司空丞

注釈 97-0050-001参照

サイズ 封泥タテ二七・〇、封泥ヨコ二七・五、印面タテ(一八・五)、

印面ヨコ(一九・五)、枠線タテ一七・〇、枠線ヨコ一七・〇、封泥厚さ七・〇、検・簡幅一六・〇

備考 不規則円餅形、田字枠線。印面乾燥前に傷。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。全体に焼け焦げたような痕。



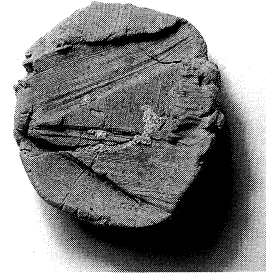
56、  
(97-0050-056)



積文 □官丞印  
 注釈 すでに発見されている封泥の官職名を勘案すれば、□部分  
 は中・泰・大・内・私・厩である可能性がある。  
 サイズ 封泥タテ二八・〇、封泥ヨコ三〇・〇、印面タテ(二〇・〇)、  
 印面ヨコ(二〇・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封  
 泥厚さ八・〇、検・簡幅(一)  
 備考 不規則円餅形、田字枠線。右肩部欠損。裏面に木目とワラ  
 シベ状紐痕、紐の通った穴。



55、  
(97-0050-055)



積文 寺國丞印  
 注釈 97-0050-013参照  
 サイズ 封泥タテ二七・〇、封泥ヨコ二六・〇、印面タテ(二〇・〇)、  
 印面ヨコ(一七・五)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封  
 泥厚さ九・〇、検・簡幅一三・〇  
 備考 不規則円餅形、田字枠線。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

57、  
(97-0050-057)



积文  
注釈  
備考

□厩丞印

すでに発見されている封泥の官職名を勘案すれば、□部分は章・宮・中・左・右・小・泰・御である可能性がある。

サイズ

封泥タテ三〇・〇、封泥ヨコ二六・〇、印面タテ二二・〇、印面ヨコ一七・〇、枠線タテ一九・〇、枠線ヨコ一、封泥厚さ六・五、検・簡幅一二・五

不規則円餅形、田字枠線。右肩部欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

58、  
(97-0050-058)



积文  
注釈  
備考

寺込丞印

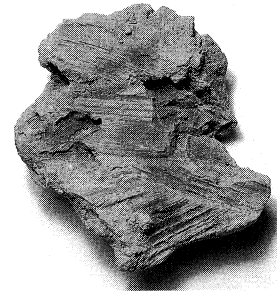
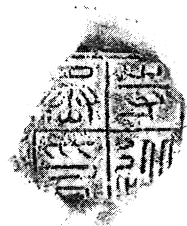
97-0050-013参照

サイズ

封泥タテ二八・〇、封泥ヨコ二三・〇、印面タテ二〇・五、印面ヨコ一六・五、枠線タテ一、枠線ヨコ一、封泥厚さ七・〇、検・簡幅一

不規則円餅形、田字枠線。右縁部・左下部欠損。裏面に木目痕。

59、  
(97-0050-059)



釈文  
寺邊丞印

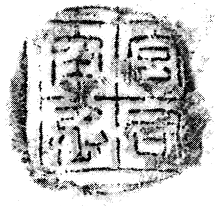
注釈  
97-0050-013参照

サイズ  
封泥タテ三四・〇、封泥ヨコ三三・〇、印面タテ(二二・〇)、  
印面ヨコ(二二・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ二〇・五、

備考  
封泥厚さ八・〇、検・簡幅(一)

不規則円餅形、田字枠線。右肩部と下縁部・左肩部欠損。  
裏面一部欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

60、  
(97-0050-060)



釈文  
宮司空丞

注釈  
97-0050-003参照

サイズ  
封泥タテ三三・〇、封泥ヨコ三二・〇、印面タテ二二・〇、  
印面ヨコ(二二・〇)、枠線タテ二〇・〇、枠線ヨコ(一)、  
封泥厚さ七・〇、検・簡幅一一・〇

備考  
不規則円餅形、田字枠線。裏面に木目とワラシベ状紐痕、  
紐の通った穴。

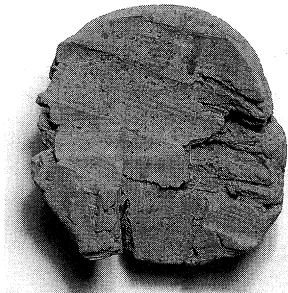
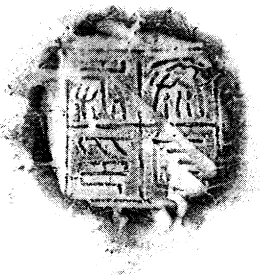


61、(97-0050-061)



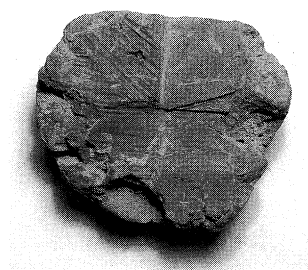
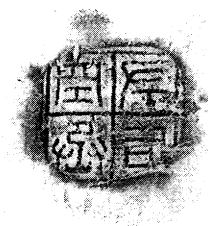
積文 郡右邸印  
注釈 97-0050-004参照  
サイズ 封泥タテ三〇・〇、封泥ヨコ二一・五、印面タテ二二・〇、印面ヨコ一五・〇、枠線タテ一八・五、枠線ヨコ一、封泥厚さ九・五、検・簡幅(↑)  
備考 不規則円餅形、田字枠線。左側欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕。裏面を中心に焼け焦げたような痕跡。

62、(97-0050-062)



積文 泰匠丞印  
注釈 97-0050-016参照  
サイズ 封泥タテ三三・〇、封泥ヨコ三二・〇、印面タテ二二・〇、印面ヨコ二一・五、枠線タテ二〇・〇、枠線ヨコ二〇・〇、封泥厚さ八・五、検・簡幅一一・〇  
備考 不規則円餅形、田字枠線。印面に乾燥前についた複数の線。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

63、  
(97-0050-063)



积文 左司空丞

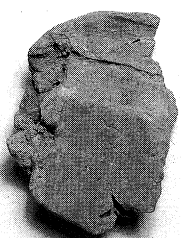
注釈 97-0050-001参照

サイズ 封泥タテ二八・〇、封泥ヨコ三三・〇、印面タテ(二八・五)、  
印面ヨコ(一九・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ一七・五、

封泥厚さ八・五、検・簡幅一・〇

備考 不規則円餅形、田字枠線。裏面一部欠損。裏面に木目とワ  
ラシベ状紐痕、紐の通った穴。

64、  
(97-0050-064)



积文 御府丞印

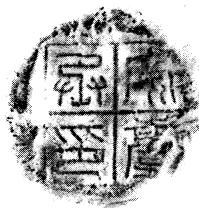
注釈 97-0050-006参照

サイズ 封泥タテ二九・〇、封泥ヨコ二二・五、印面タテ(二二・〇)、  
印面ヨコ(一七・五)、枠線タテ一九・〇、枠線ヨコ(一)、

封泥厚さ七・〇、検・簡幅(一)

備考 不規則円餅形、田字枠線。左側欠損。裏面に木目とワラシ  
ベ状紐痕、紐の通った穴。

65、(97-0050-065)



積文 安臺丞印

注釈 出土例あり。史書に記載なし。

サイズ 封泥タテ二七・五、封泥ヨコ二九・〇、印面タテ(二〇・〇)、

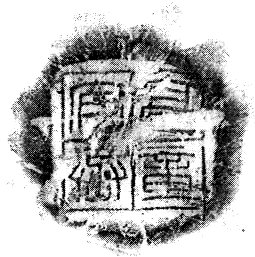
印面ヨコ(二二・〇)、枠線タテ一九・〇、枠線ヨコ(一)、

封泥厚さ八・〇、検・簡幅一三・五

備考 不規則円餅形、田字枠線。印面右側乾燥前に変形。裏面に

木目とワラシベ状紐痕。

66、(97-0050-066)



積文 高章宦丞

注釈 97-0050-026参照

サイズ 封泥タテ三二・〇、封泥ヨコ三一・五、印面タテ二二・〇、

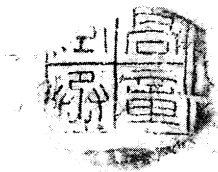
印面ヨコ二二・〇、枠線タテ一八・五、枠線ヨコ一八・五、

封泥厚さ八・〇、検・簡幅二二・〇

備考 不規則円餅形、田字枠線。印面に乾燥前についた傷。裏面

に木目とワラシベ状紐痕。

67、(97-0050-067)



积文 高章宦丞

注釈 97-0050-026参照

サイズ 封泥タテ二三・〇、封泥ヨコ三〇・〇、印面タテ(二八・五)、

印面ヨコ二二・〇、枠線タテ(一)、枠線ヨコ一九・〇、封

泥厚さ七・〇、検・簡幅二三・五

備考 不規則円餅形、田字枠線。上部欠損。裏面に木目とワラシ

ベ状紐痕。

68、(97-0050-068)



积文 御府丞印

注釈 97-0050-006参照

サイズ 封泥タテ二〇・五、封泥ヨコ二三・五、印面タテ(二六・五)、

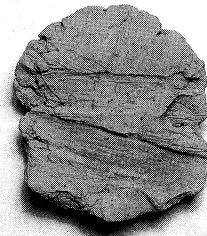
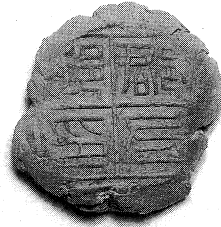
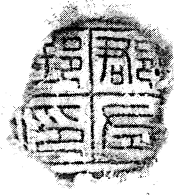
印面ヨコ(一九・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封

泥厚さ七・〇、検・簡幅(一)

備考 不規則円餅形、田字枠線。上部欠損。裏面に木目とワラシ

ベ状紐痕。全体に焼け焦げたような痕跡。

69、(97-0050-069)



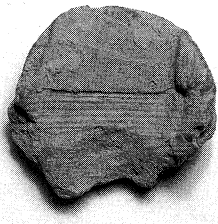
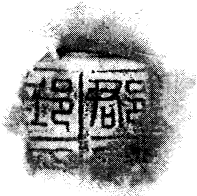
积文 郡左邸印

注釈 97-0050-004参照

サイズ 封泥タテ二七・〇、封泥ヨコ二七・〇、印面タテ二〇・五、印面ヨコ一九・五、枠線タテ一八・〇、枠線ヨコ一、封泥厚さ六・五、検・簡幅(一)

備考 不規則円餅形、田字枠線。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

70、(97-0050-070)



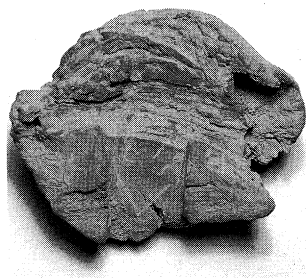
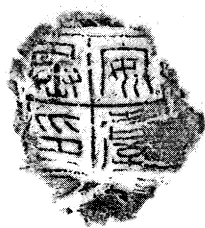
积文 郡□邸印

注釈 すでに発見されている封泥の官職名を勘案すれば、□部分は左か右であろう。97-0050-004参照。

サイズ 封泥タテ二五・五、封泥ヨコ二六・〇、印面タテ二七・〇、印面ヨコ一九・〇、枠線タテ一、枠線ヨコ一、封泥厚さ九・五、検・簡幅一六・〇

備考 不規則円餅形、田字枠線。左下部欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

71、(97-0050-071)



積文 安臺丞印

注釈 97-0050-065参照

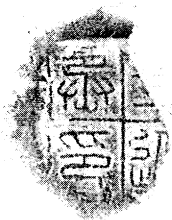
サイズ

封泥タテ三・五、封泥ヨコ三六・〇、印面タテ二〇・五、  
印面ヨコ二〇・五、枠線タテ一八・五、枠線ヨコ一八・五、  
封泥厚さ七・〇、検・簡幅一〇・五

備考

不規則円餅形、田字枠線。右肩部・左縁部欠損。印面乾燥  
前に変形。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

72、(97-0050-072)



積文 團圓丞印

注釈 97-0050-013参照

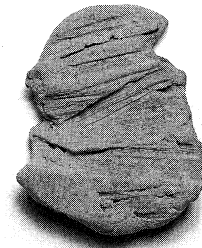
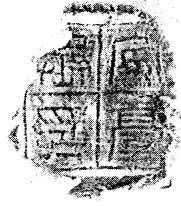
サイズ

封泥タテ三〇・〇、封泥ヨコ二五・〇、印面タテ(二一・五)、  
印面ヨコ(二六・五)、枠線タテ一九・五、枠線ヨコ(一)、  
封泥厚さ七・〇、検・簡幅(一)

備考

不規則円餅形、田字枠線。右側欠損。裏面に木目とワラシ  
ベ状紐痕。

73、(97-0050-073)



积文 安臺丞印

注釈 97-0050-065参照

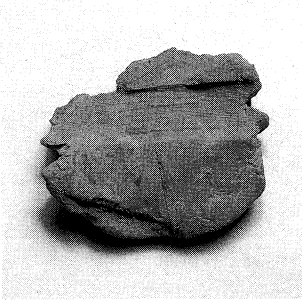
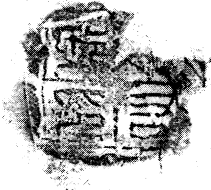
サイズ 封泥タテ二九・五、封泥ヨコ二四・〇、印面タテ二二・五、

印面ヨコ(二〇・〇)、枠線タテ一九・〇、枠線ヨコ(一)、

封泥厚さ四・五、検・簡幅(一)

備考 不規則円餅形、田字枠線。左右縁部欠損。裏面にワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

74、(97-0050-074)



积文 □右邸印

注釈 すでに発見されている封泥の官職名を勘案すれば、郡右邸印であろう。97-0050-004参照。

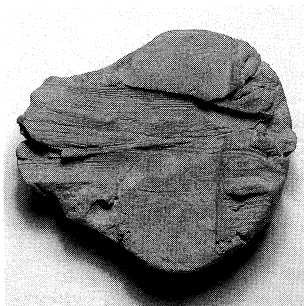
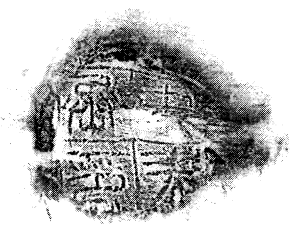
サイズ 封泥タテ二四・五、封泥ヨコ二八・五、印面タテ(二〇・〇)、

印面ヨコ(一九・五)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封

泥厚さ八・〇、検・簡幅(一)

備考 不規則円餅形、田字枠線。右肩部欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

75、(97-0050-075)



积文 圜圖丞印

注釈 97-0050-033参照

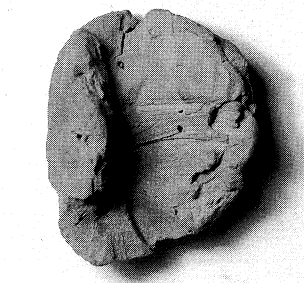
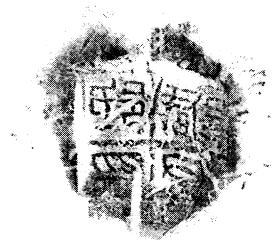
サイズ

封泥タテ三〇・五、封泥ヨコ三五・〇、印面タテ(二〇・〇)、  
印面ヨコ(二六・五)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封  
泥厚さ九・〇、検・簡幅二二・〇

備考

不規則円餅形、田字枠線、裏面に木目とワラシベ状紐痕、  
紐の通った穴。

76、(97-0050-076)



积文 郡園邸印

注釈 97-0050-004参照

サイズ

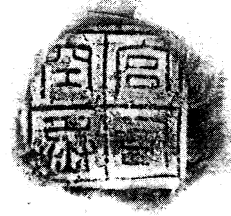
封泥タテ三二・〇、封泥ヨコ二六・五、印面タテ(一七・五)、  
印面ヨコ(二〇・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封  
泥厚さ七・五、検・簡幅九・五

備考

不規則円餅形、田字枠線。上部に亀裂。印面乾燥前に変形。  
裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。



77、(97-0050-077)



積文 宮司空丞

注釈 97-0050-003参照

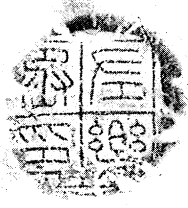
サイズ

封泥タテ三二・〇、封泥ヨコ三六・〇、印面タテ二二・五、印面ヨコ二二・五、枠線タテ一九・五、枠線ヨコ一九・五、封泥厚さ八・〇、検・簡幅一三・五

備考

不規則円餅形、田字枠線。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

78、(97-0050-078)



積文

左樂丞印

注釈

出土例あり。秦封泥にはこのほかに「樂府丞印」も出土している。「漢書」百官公卿表では、秦官に少府の属官として樂府があり、令・丞が置かれ、武帝の時になって「樂府三丞」とされたとある。しかし、左樂丞が左樂府丞を指すとすれば、秦代にはすでに複数の樂府が存在していたことになる。

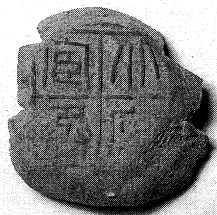
サイズ

封泥タテ二八・五、封泥ヨコ二七・五、印面タテ二二・〇、印面ヨコ二〇・〇、枠線タテ一九・五、枠線ヨコ一七・五、封泥厚さ六・五、検・簡幅一

備考

不規則円餅形、田字枠線。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

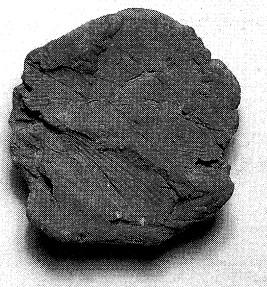
79、(97-0050-079)



积文 北宮宦丞  
 注釈 97-0050-052参照  
 サイズ 封泥タテ二五・五、封泥ヨコ二六・〇、印面タテ(一九・〇)、  
 印面ヨコ(一八・〇)、枠線タテ一七・〇、枠線ヨコ(一)、  
 封泥厚さ六・〇、検・簡幅(一)

備考 不規則円餅形、田字枠線。左右縁部欠損。裏面に木目とワ  
 ラシベ状紐痕、紐の通った穴。

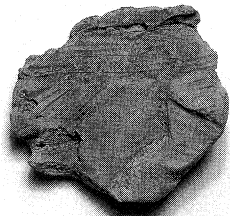
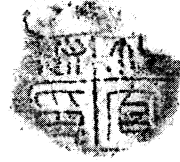
80、(97-0050-080)



积文 南宮郎丞  
 注釈 出土例あり。南宮に関しては、97-0050-052参  
 照。また『漢書』百官公卿表には秦官として、宮殿の門戸  
 を掌る郎中令の属官に郎が見える。  
 サイズ 封泥タテ三二・〇、封泥ヨコ三二・〇、印面タテ(二八・〇)、  
 印面ヨコ(二七・五)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封  
 泥厚さ七・五、検・簡幅二二・五

備考 不規則円餅形、田字枠線。裏面に木目とワラシベ状紐痕、  
 紐の通った穴。

81、(97-0050-081)



積文  
注釈

□官丞印  
文字の残欠部分と、すでに発見されている封泥の官職名とを勘案すれば、私官丞印であろうか。出土例あり。ただし、管見の及ぶ限り全て横日字枠線であり、田字枠線のものとは未見。咸陽塔兒坡遺跡からは昭襄王三十六年私官銘鼎が出土している。また『漢書』張湯伝では服虔を引き「私官、皇后之官也」と注している。

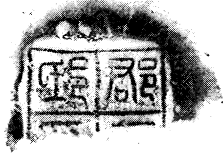
サイズ

封泥タテ二五・〇、封泥ヨコ二七・五、印面タテ（一六・〇）、印面ヨコ（一八・五）、枠線タテ（一）、枠線ヨコ（一）、封泥厚さ六・〇、検・簡幅（一）

備考

不規則円餅形、田字枠線。上部欠損。裏面に木目とワラシベ状紐痕、紐の通った穴。

82、(97-0050-082)



積文

注釈

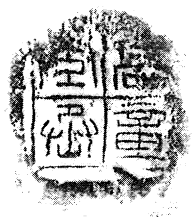
郡□邸印  
すでに発見されている封泥の官職名を勘案すれば、□部分は左か右であろう。97-0050-004参照。

サイズ

封泥タテ二〇・〇、封泥ヨコ二九・〇、印面タテ（二四・〇）、印面ヨコ二二・〇、枠線タテ（一）、枠線ヨコ一八・〇、封泥厚さ七・五、検・簡幅（一）

備考

不規則円餅形、田字枠線。下部欠損。裏面に木目と細い紐状痕。



84、(97-0050-084)



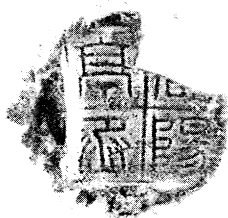
積文  
注釈  
サイズ  
備考

高章宦丞

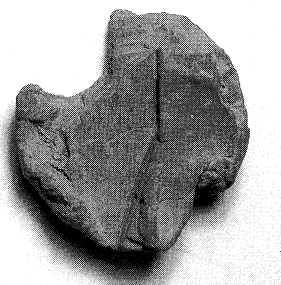
97-0050-026参照

封泥タテ三・三・五、封泥ヨコ三・三・五、印面タテ(二九・〇)、  
印面ヨコ(二〇・〇)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封  
泥厚さ八・〇、検・簡幅一四・〇

不規則円餅形、田字枠線。裏面に木目とワラシベ状紐痕、  
紐の通った穴。



83、(97-0050-083)



積文  
注釈  
サイズ  
備考

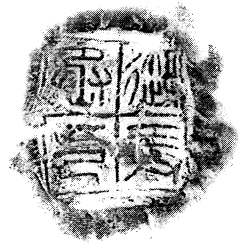
國陽亭丞

出土例あり。亭丞の職名は未詳。

封泥タテ三・一・五、封泥ヨコ二九・五、印面タテ二・一・五、  
印面ヨコ(二〇・〇)、枠線タテ一九・五、枠線ヨコ(一)、  
封泥厚さ六・五、検・簡幅一一・五

不規則円餅形、田字枠線。右肩部欠損。裏面に木目の痕跡。

85、(97-0050-085)



積文 御差丞印

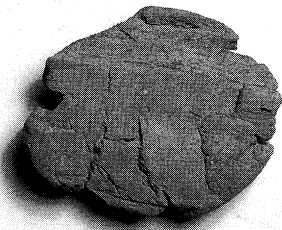
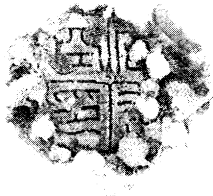
注釈 出土例あり。御差に關しては、97-0050-033參照。

サイズ 封泥タテ三・五、封泥ヨコ三・〇、印面タテ二・〇、

印面ヨコ二・〇、枠線タテ二・〇・五、枠線ヨコ一・八・五、封泥厚さ七・〇、検・簡幅一・二・五

備考 不規則円餅形、田字枠線、印面に乾燥前の歪み。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

86、(97-0050-086)



積文 圖圖空印

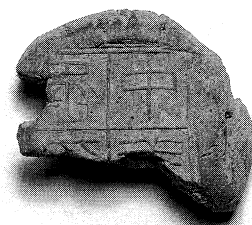
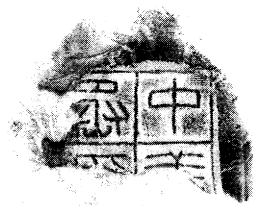
注釈 97-0050-003參照

サイズ 封泥タテ二・六・五、封泥ヨコ三・三・五、印面タテ(一九・〇)、

印面ヨコ(一四・五)、枠線タテ(一)、枠線ヨコ(一)、封泥厚さ八・五、検・簡幅一・三・〇

備考 不規則円餅形、田字枠線。裏面に木目とワラシベ状紐痕。

87、  
(97-0050-087)



積文  
中園丞印

注釈  
97-0050-033参照

サイズ  
封泥タテ二六・〇、封泥ヨコ三〇・五、印面タテ(二八・五)、

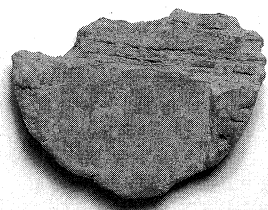
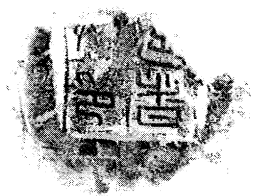
印面ヨコ(二〇・五)、枠線タテ(―)、枠線ヨコ(―)、封

泥厚さ六・五、検・簡幅(―)

備考  
不規則円餅形、田字枠線。下部・左縁部欠損。裏面にワラ

シベ状紐痕。

88、  
(97-0050-088)



積文  
園者園印

注釈  
97-0050-021参照

サイズ  
封泥タテ二四・〇、封泥ヨコ三三・〇、印面タテ(二五・〇)、

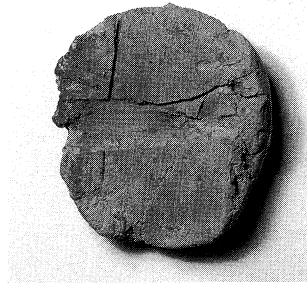
印面ヨコ一九・五、枠線タテ(―)、枠線ヨコ一七・五、封

泥厚さ五・五、検・簡幅一九・五

備考  
不規則円餅形、田字枠線。上部欠損。裏面に木目とワラシ

ベ状紐痕。

89、(97-0050-089)



积文  
内官丞印

注釈  
97-0050-002参照

サイズ  
封泥タテ三・二〇、封泥ヨコ二・五・五、印面タテ一七・五、

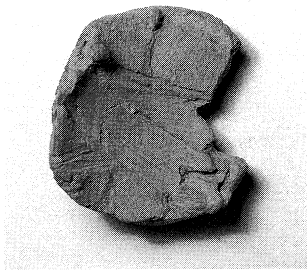
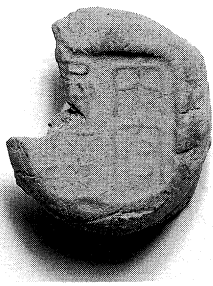
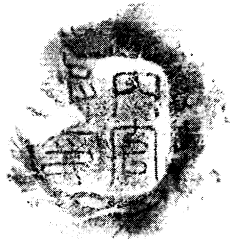
印面ヨコ(二七・五)、枠線タテ(無)、枠線ヨコ(無)、封

泥厚さ六・〇、検・簡幅一三・五

備考  
不規則円餅形、枠線なし。裏面に木目とワラシベ状紐痕、

紐の通った穴。

90、(97-0050-090)



积文  
内官丞印

注釈  
97-0050-002参照

サイズ  
封泥タテ二・八・五、封泥ヨコ二・一・〇、印面タテ一八・〇、

印面ヨコ(一八・〇)、枠線タテ(無)、枠線ヨコ(無)、封

泥厚さ八・〇、検・簡幅(―)

備考  
不規則円餅形、枠線なし。左肩部欠損。裏面に木目とワラ

シベ状紐痕、紐の通った穴。